

資料を活用し、安全な登下校・自転車による交通事故防止を考える学習指導案

1 対象学年 小学校 第4学年

2 教科・領域 総合的な学習の時間

3 単元名 安全に自転車に乗ろう

4 単元の目標

- (1) ・自転車に安全に乗るという意識を持って、活動に取り組もうとしている。 【関】
- (2) ・見通しの悪い場所での危険を予測し、安全な自転車の運転方法について考えることができる。  
 ・学区の中での危険な場所と安全な運転方法を考え、まとめることができる。 【思】
- (3) ・危険な場所を交通安全マップにまとめることができる。  
 ・「止まる・見る・確かめる」を意識した自転車の運転をすることができる。 【技】
- (4) ・学区のどんな場所が危険かを理解している。  
 ・交通安全マップを見て、危険な場所の位置を理解している。 【知】

5 単元の指導計画（全5時間）

| 時       | 目 標   | 主 な 学 習 活 動                          | 資 料                 |
|---------|---|--------------------------------------|---------------------|
| 1<br>本時 | ・見通しの悪い場所での危険を予測し、自転車の安全な運転方法を考える。                  | ・自転車事故の原因を考え、「止まる・見る・確かめる」の仕方を身につける。 | DVD資料<br>「安全に通学しよう」 |
| 1       | ・実際に「止まる・見る・確かめる」に気をつけて自転車を運転することができる。              | ・校庭で「止まる・見る・確かめる」に気をつけて自転車の運転を体験する。  |                     |
| 下校時     | ・各地域における自転車運転時の危険な場所に気づくことができる。                     | ・個人で登下校コースの危険な場所を調べる。                | 通学路の地図              |
| 1       | ・各地域における自転車運転時の危険な場所についてまとめることができる。                 | ・グループに分かれて、地図上に各地域の危険な場所をまとめる。       | 通学路の地図<br>交通安全マップ   |
| 1       | ・各地域における自転車運転時の危険な場所について、理由と安全な自転車の運転方法を発表することができる。 | ・各地域の危険な場所と運転方法をグループ毎に発表する。          | 通学路の地図<br>交通安全マップ   |
| 各自      | ・「止まる・見る・確かめる」を意識して安全な自転車の運転方法を実践することができる。          | ・個人で1週間「止まる・見る・確かめる」を意識して実践する。       | チャレンジカード            |
| 1       | ・実践した結果を発表し、今後も安全に自転車を運転しようという意識を持つことができる。          | ・1週間実践した結果を共有し、学習のまとめをする。            |                     |

## 6 本時の目標

- (1) 自転車の安全な運転方法について意欲的に考え、取り組もうとしている。 【関】  
 (2) 見通しの悪い場所での危険を予測し、自転車の安全な運転方法を考えることができる。 【思】

## 7 資料の活用のねらい及び活用方法

本単元では、以下の資料を活用する。

児童の安全な通学のための教育教材 DVD  
 「安全に通学しよう～自分で身を守る、みんなで守る～」(文部科学省)

DVD資料「安全に通学しよう」は、各チャプターが2分程度と短くて使いやすい教材になっている。また、映像の途中で一時停止をして児童に考えさせる仕組みになっており、皆で意見を出し合いながら主体的に進めることができる教材である。また、具体的な場面が映像で示されることで、児童はよりイメージをはっきり持ちながら意欲的に学習に取り組むことができると考える。DVD資料「安全に通学しよう」の「交通安全・高学年」に自転車の危険予測学習の映像資料があるので、今回はこれを利用する。この資料の映像を活用し、自分の生活と交通安全をより身近につなげさせ、意識を高めていきたい。

## 8 本時の展開

| 時配                                    | 主な学習活動  | 指導上の留意点 ◆評価   | 資料等  |
|---------------------------------------|---|---|--|
| 3分                                    | 1 自転車に乗っていて、あぶなかったことを発表する。  | ・事前にアンケートをとっておき、その資料を活用する。  | アンケート資料                                      |
| 5分                                    | 2 主な自転車事故の原因を知る。<br><br>3 本時のめあてを確認する。  | ・DVD資料をもとに、「信号のない交差点での事故発生率が高いこと」、「安全不確認が原因で事故になることが多いこと」に気付かせる。  | DVD資料「安全に通学しよう」の交通事故原因データ                    |
| 自転車で交通事故を起こさないために、どんなことに気をつければよいのだろう。 |   |   |  |
| 18分                                   | 4 危険予測学習をする。<br><br>・見通しの悪い交差点<br>・歩道を走っている時<br>・車がとまっている時                          | ・各映像を一時停止して、危険を予測させる。<br>・どんな危険があるか、どうすれば安全に進めるかを考え、ワークシートにまとめさせる。<br>◆どんな危険があるか、どうすれば安全に進めるかを考えていたか。<br>【思】(観察・ワークシート)<br>◆進んで発表しようとしていたか<br>【関】(観察) | DVD資料<br>「安全に通学しよう」の「交通安全・高学年」<br><br>ワークシート |
| 10分                                   | 5 「止まる・見る・確かめる」の確認の仕方を考える。<br><br>・止まる(どこで止まるか)<br>・見る(何を、どのくらい)<br>・確かめる(何を、どのくらい) | ・教室の出入口で実際に「止まる・見る・確かめる」をさせるなど、より実践的に指導する。  |  |

|    |   |  |        |
|----|---|--|--------|
| 3分 | 6 学習のまとめをする。                            |  |        |
|    | 見通しの悪い場所では、自転車は「止まる・見る・確かめる」に気をつけて運転する。 |  |        |
| 5分 | 7 学習の感想を書き、発表する。                        |  | ワークシート |
| 1分 | 8 次時の予告をする。                             | ・実際に模擬道路を使って「止まる・見る・確かめる」を意識して運転してみることを確認する。 |        |

## 9 資料活用の効果

児童はDVDの映像を意欲的に見るなど、1時間通して集中力を持続させながら活動することができた。映像が具体的な場面だったことで、自分のこととして思考し、発表することができていた。しかし、この時間では考えるだけになってしまったことから、次時の模擬道路での実践があることでさらに深く学習することができると思う。また、一時的な指導ではなく、今回の資料活用をきっかけに継続的な交通安全指導につなげていくことでより効果的な交通安全教育につながると考える。

## 10 参観者の意見・感想

- ・映像を使うことで、より具体的にイメージしながら取り組むことができていた。
- ・流れが分かりやすく、児童にとって取り組みやすかった。
- ・「止まる・見る・確かめる」をさらに広めて学校全体で取り組んでいくべき。
- ・今後、実際に自転車運転時にできるか実践してみることが大切だと思う。
- ・1年生から系統的にこのDVDを活用していくことで、より効果的な交通安全教育になっていくと思う。

資料を活用し、安全な登下校・自転車による交通事故防止を考える学習指導案

1 対象学年 小学校 第4学年

2 教科・領域 学級活動(交通安全)

3 題材名 自転車での事故を防ごう！

4 題材の目標

- (1) 交通安全についての危険予測学習を通して、進んで決まりを守り、安全に自転車に乗ろうとしている。 【関】
- (2) 交通安全についての危険予測学習を通して、安全な自転車の乗り方について考えることができる。 【思】
- (3) 交通法規を守りながら、安全に自転車に乗ることができる。 【技】
- (4) 交通法規と安全な自転車の乗り方について理解している。 【知】

5 題材の指導計画

| 時             | 目 標   | 主 な 学 習 活 動   | 資 料                                      |
|---------------|---|---|--|
| 1             | ・交通安全という観点で、普段の行動を振り替える。  | ・DVD「知事からの交通安全メッセージ」を視聴する。  | DVD「知事からの交通安全メッセージ」                      |
| 事前調査<br>(1週間) | ・自転車に乗っているときの問題点を見つける。  | ・自転車に乗っているときの問題点を見つけ、記録する。  | 〈ワークシート〉                                 |
| 2             | ・自転車に乗っているときの自らの課題を認識し、発表することができる。  | ・自転車に乗っているときの自らの課題を発表する。  |  |
| 3<br>(本時)     | ・身近な場所にある危険を予測し、日常生活においての自転車の安全な運転方法を身につける。<br>・安全に自転車に乗るための目標を立てることができる。 | ・ドラマ「運命の交差点」を視聴し、自転車の安全運転の重要性を知る。<br>・自転車で安全に道路を通行するための方法を知る。<br>・自転車に乗るときのこれからのめあてを持つ。 | DVD資料<br>「運命の交差点」<br>DVD資料<br>「安全に通学しよう」 |

6 本時の目標

- (1) 身近な場所にある危険を予測し、日常生活においての自転車の安全な運転方法を理解することができる。 【知】
- (2) 安全に自転車に乗るための目標を立てることができる。 【思】

7 資料の活用のねらい及び活用方法

本題材では、以下の資料を活用する。

- ①JA共済 「小学生向け交通安全教育DVD：能辨編(5・6年生向け)」(平成24年)
- ②文部科学省「安全に通学しよう」DVD(平成25年)

①については、「CHAPTER1」のドラマ『運命の交差点』を授業の始めに視聴させることで、自転車による事故が決して他人事ではなく、いつ自分の身に起きてもおかしくないことを理解させ、これからの学習に対する興味関心を高める。

また、②のDVDを視聴させることで、自転車の運転中の様々な場面や状況での事故を回避する行動を理解させる。また、危険な場面で映像を一時停止させ、どんな危険があるかを考えさせる。危険を予測する能力を高めることで、事故に遭う可能性をできる限り低くしていきたい。

## 8 本時の展開

| 時配   | 主な学習活動   | 指導上の留意点 ◆評価  | 資料等               |
|--|--|--|-------------------|
| 5分   | <p>1 ドラマ「運命の交差点」を視聴し、自転車の安全運転の重要性を知る。</p> <p>【小学生向け交通安全教育DVD<br/>：自転車発展編（チャプター1）】</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ちょっとした不注意が、被害者や家族にとって取り返しのつかない事態を引き起こしてしまうことを確認させる。</li> <li>小学生が事故を起こした場合、保護者に被害者の入院費や賠償金を支払う責任があることを知らせる。</li> </ul>  | DVD資料<br>「運命の交差点」 |
| <p>交通事故にあわないように通行するには、どのように自転車の運転をすればよいただろう。</p> |  |  |                   |
| 18分  | <p>2 自転車で安全に道路を通行するための方法を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>DVDを視聴し、通行時の危険を考える。</li> </ul> <p>※自転車を運転中の様々な場面や状況での回避行動を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交差点を渡るとき</li> <li>道路の向こう側に知り合いがいるとき</li> <li>前を人が歩いているとき</li> <li>見通しの悪い交差点</li> <li>道路沿いにお店がある場所</li> <li>わき道がある場所</li> <li>駐車車両の横を通るとき</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>映像を見せながら、危険な場面で一時停止して、どんな危険があるか考えさせる。</li> <li>事故に遭わないためにどんな行動をとればよいか、どんなことに気をつけて通行すればよいかを考えさせる。</li> </ul> <p>※交差点を渡る時は「止まる、見る、確かめる」行動が大切</p> <p>※交差点で待つときは、自動車の内輪差に気をつける</p> <p>※どんなことがあっても急に方向を変えない</p> <p>※見通しの悪い交差点でも「止まる、見る、確かめる」行動が大切</p> <p>※お店の近くでは、駐車場へ出入りする車に気を付ける</p> <p>※わき道があったら「止まる、見る、確かめる」</p> <p>※駐車車両の横を通るときは、危険を予測しよく見て通る</p> <p>◆自転車で安全に道路を通行するための方法を知ることができたか。【知】（発表）</p> | DVD資料<br>安全に通学しよう |
| 10分  | <p>3 どんなときに「止まる、見る、確かめる」を忘れてしまうか考える。</p> <p>①何かに気をとられているとき<br/>②急いでいるとき<br/>③考え事をしているとき<br/>④相手の車が止まってくれるなどの思い込みをしたとき<br/>⑤友だちとおしゃべりをしているとき<br/>⑥雨が降っているとき</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の中にある危険（急ぎ・焦り・悩み・思い込み・自信過剰など）に気づかせるために書く活動を取り入れ、考えを深めさせる。</li> </ul> <p>◆事故を引き起こす、自分の心の中の危険に気づくことができたか。<br/>【思】（ワークシート）</p>   | ワークシート            |
| 12分  | <p>4 自転車に乗るときのこれからのめあてを書く。</p> <p>5 自転車に乗るときのめあてを発表する。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>より具体的な行動目標が立てられるよう声をかけていく。</li> <li>めあては、いくつ書いてもよいことを伝える</li> <li>各班1名程度、発表させる。</li> <li>「めあてカード」は、教室に掲示することを伝える。</li> </ul>  | めあてカード            |

|  |  |
|--|--|
| 6 本時のまとめをする。   | ◆安全に自転車に乗るための目標を立てることができたか。<br>【思】（発表・めあてカード |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自転車に乗るときも「止まる、見る、確かめる」行動を心がける。</li> <li>・ どんなことがあっても、飛び出さない、急に方向を変えない。</li> <li>・ いろいろな場所や場面で、危険を予測する。</li> </ul> |  |

## 9 資料活用の効果

DVD資料「運命の交差点」を視聴することで、児童は自転車による事故が他人事ではなく、いつ自分の身に起きてもおかしくないということを感じることができ、その後の学習にいつも以上に真剣に取り組むことができた。

DVD資料「安全に通学しよう」は、自転車を運転中の様々な場面や状況での危険を予測し、事故を回避するための行動を、画面を一時停止することで考えさせるようにできている。児童は、それぞれの場面で危険を予測し、事故を回避するための行動を考えることができた。様々な場面や状況での危険を予測できるようになることは、必ず今後の児童の交通事故防止につながっていくと考えられるので、「安全に通学しよう」を視聴しながら、学習を進めていったのは良かったと考えている。

## 10 参観者の意見・感想

- ・ DVDを視聴することで、児童は自転車による事故を自分の問題としてとらえることができていた。
- ・ DVDの中で繰り返し出てきた「止まる、見る、確かめる」は、児童に限らず交通事故を防止するためにとっても大切なことなので、今後も繰り返し指導し、小学生の内をしっかり身につけさせたい。
- ・ 危険を予測し、交通事故を回避する態度を身につけさせるという点では良かった。ただ、「命を大切にする」という面が、もっと強く出てきても良かったと思う。
- ・ 危険の予測という面だけでなく、DVD資料「運命の交差点」の中にあつた、「命の大切さ」「家族の思い」といった面にも触れることができればもっと良い授業になったと思う。
- ・ この授業や、交通事故を回避するための「止まる、見る、確かめる」を4年生だけでなく、学校全体に広める手立てを考えてほしい。
- ・ 教材の工夫が良くなされていた。小学校で学んだ交通事故を防ぐための「止まる、見る、確かめる」を中学校でも、さらには大人になっても忘れないようにさせたい。

資料を活用し、安全な登下校・自転車による交通事故防止を考える学習指導案

1 対象学年 小学校 第4学年

2 教科・領域 学級活動

3 題材名 交通事故にあわないためには

4 題材の目標

(1) 交通事故の原因を知り、危険を予知し、事故を未然に防ぎ、安全な生活を心がけようとする。

【関】

(2) 交通事故に遭わないためには、危険を予測して行動する大切さに気づく。

【知】

5 題材の指導計画

| 時  | 目 標   | 主 な 学 習 活 動   | 資 料  |
|----|---|---|--|
| 本時 | <ul style="list-style-type: none"> <li>交通事故の原因を知り、危険を予知し、事故を未然に防ぎ、安全な生活を心がけようとする。</li> <li>交通事故に遭わないためには、危険を予測して行動する大切さに気づく。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>交通事故の写真や資料を見て話し合う。</li> <li>道路のワークシートを見て、どのような危険が存在するか考える。</li> <li>ヒヤッとしたり、ハッとしたりした経験について話し合う。</li> <li>みんなで学区のヒヤリハットマップを作る。</li> </ul> | 交通事故の資料<br>ワークシート<br>学区マップ<br>JA 共済の交通安全動画 |

6 資料の活用のねらい及び活用方法

本題材では以下の資料を活用する。

- 動画「このとき、どんな危険が」（4分30秒）  
 JA 共済のホームページ「親子で学ぶ交通ルール」より  
<http://social.ja-kyosai.or.jp/contribution/safety/safety.html>

この動画では道路の状況に応じた危険（狭い道から広い道へ出る交差点、止まっている車付近、狭い道のある場所）が取り上げられている。ここで取り上げられている場面をワークシートに載せ、予想される危険と安全な行動の2点について考えさせた後、動画を視聴することで、危険を予測することの大切さをわかりやすく理解できると考えた。

さらに、授業の終わりに児童全員で学区のヒヤリハットマップを作る。ワークシート等で起こりうる様々な危険を考えさせた後、このマップを作成し、身の回りの危険な場所の存在を確認することで、より現実的に交通事故を未然に防ぐための意識が高まらさうと考える。また、作成したマップは授業後も掲示し、ときどき振り返らせることで、本授業で学んだ危険予測の知識を日常の実践へと結びつけていきたい。

7 本時の展開

| 時配 | 主な学習活動   | 指導上の留意点 ◆評価  | 資料等     |
|----|--|--|---------|
| 5  | 1. 交通事故の写真を見て話し合う。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>おそろしい事故だね。</li> <li>どうして事故が起こってしまったのだろう。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>自転車による交通事故写真を見せ、交通事故の怖さを実感させる。</li> </ul> | 交通事故の写真 |

|   |   |  |              |
|---|---|--|--------------|
|   | <p>2. 交通事故の資料を見て話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車に乗っていてけがをしている人が多い。</li> <li>・飛び出して事故にあう人が多い。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・状態別死傷者数を見せ、自転車による負傷者が多いことに気づかせる。</li> <li>・交通事故の原因は、飛び出しが多いことに気づかせる。</li> <li>・飛び出しは、危険を予測していない行動であることに気づかせる。</li> </ul>   | 交通統計資料       |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">         自転車に乗っているとき、どのような危険があるのか考えよう。       </div> |   |  |              |
| 20  | <p>3. ワークシートをもとに、どのような危険が予想されるか考え、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・横道から人が飛び出して来るかも知れない。</li> <li>・横道から急に車が現れるかも知れない。</li> <li>・止まっている車から急に運転手が降りてくるかも知れない。</li> <li>・危険がいっぱいひそんでいる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・視聴する交通安全動画に出てくる3場面（狭い道から広い道へ出る交差点、止まっている車付近、狭い道のある場所）について予想される危険と安全な行動の2点について考えさせる。</li> <li>・自分が自転車に乗ってその場所を通りかかったと想定して考えさせる。</li> <li>・考えたことをグループで話し合わせる。</li> </ul> | ワークシート       |
|   | <p>4. 交通安全動画「この時、どんな危険が」を視聴する。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・動画を見て、改めて危険を予知する大切さについて気づかせる。</li> </ul>   | JA共済交通安全教育動画 |
| 10  | <p>5. ヒヤリハット体験について、自分が体験したり、見たり、聞いたりしたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車に乗っていたら、急に出てきた車にぶつかりそうになった。</li> <li>・近くで交通事故を見た。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハット体験を話し合うことで、いつ事故にあってもおかしくない状況を理解させる。</li> <li>・自分達の身の周りにも危険な場所が多く存在していることに気づかせる。</li> </ul>   | 「この時どんな危険が」  |
| 5   | <p>6. 学区のヒヤリハットマップを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シールがたくさん貼られている場所は交通事故が起こりやすい場所だね。</li> <li>・信号のない交差点は危ない。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学区の地図を用意し、自転車に乗っていてヒヤッとしたりハットしたりした体験のある場所にシールを貼らせる。（自転車での体験がない場合は、歩いていて、または4輪同乗中も可とする。見たことや聞いたことも含む。）</li> <li>・作成したヒヤリハットマップは、啓蒙資料として学校内に掲示する。</li> </ul>             | 学区の地図シール     |
| 5   | <p>7. 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の周りや家の周りに、交通事故にあいそうな危険な場所がたくさんある。</li> <li>・危険を予測しながら自転車に乗ろうと思う。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の学習を振り返り、学習のまとめをさせる。</li> </ul> <p>◆危険を予知し、事故を未然に防ぎ、安全な生活を心がけようとしているか。 【関】（ワークシート）</p>   | ワークシート       |

|  |                                   |   |  |
|--|-----------------------------------|---|--|
|  | <p>・一時停止をきちんとし、安全に自転車に乗ろうと思う。</p> | <p>◆交通事故に遭わないために、危険を予測して行動することの大切さに気づくことができたか。</p> <p>【知】(ワークシート)</p> |  |
|--|-----------------------------------|---|--|

## 8 資料活用の効果

動画を視聴する前に、動画と同じ場面で危険予測について考えることができ、より興味をもって動画視聴ができた。さらに動画視聴後に、身近な場面でのヒヤリハット体験を話し合ったり、学区のヒヤリハットマップを作成したりしたことで、動画と自分達の地域の危険箇所を結びつけて考えることができた。

## 9 参観者の意見・感想

- 保護者に対する安全意識の啓蒙といった点で考えると、授業参観等で、本授業を行うとさらに効果的であると思う。
- 作成したヒヤリハットマップをさらに細かく地区ごとに作成し、地区児童会などの機会に他の学年児童に伝えれば、地区ごとに安全意識が高まり、交通安全に対する相乗効果が増すと思う。

資料を活用し、安全な登下校・自転車による交通事故防止を考える学習指導案

1 対象学年 小学校 第4学年

2 教科・領域 学級活動  
 【1 学級活動 (2) 日常の生活や学習への適応及び健康安全】  
 カ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

3 題材名 自転車の正しい乗り方

4 題材の目標

- (1) 進んで決まりを守り、危険を回避し、安全に行動しようとしている。 【関】  
 (2) その場の状況に応じた危険を予測し、安全に行動できるように考え、判断し、実践できる。 【思】  
 (3) 危険を事前に予測しながら、安全に自転車に乗車することの大切さを理解している。 【知】

5 題材の指導計画 (3時間扱い)

| 時       | 目 標   | 主 な 学 習 活 動  | 資 料                           |
|---------|---|--|-------------------------------|
| 1<br>本時 | ・危険を予測し事前に備えるなど、自転車の安全な乗り方を理解する。                | ○DVDを見て、自転車に乗車している時に、どのような危険が考えられるか話し合う。             | DVD「安全に通学しよう～自分で身を守る、みんなを守る～」 |
| 2       | ・その場の状況に応じた危険を予測し、安全に行動できるように考え、判断し、実践する。(学校行事) | ○自転車の正しい乗り方を知り、模擬道路を走行する。<br>○安全に自転車に乗ることができたか評価し合う。 | 模擬道路<br>自転車                   |

6 本時の目標

- (1) 危険を事前に予測しながら、安全に自転車に乗車することの大切さを理解している。 【知】

7 資料の活用のねらい及び活用方法

危険な道路環境や状況の映像を見ることにより、交通事故の危険性を考えさせることで、自転車の安全な乗り方が理解できるようにする。

<資料名>

- 企画 文部科学省 DVD「安全に通学しよう～自分で身を守る、みんなを守る～」

## 8 本時の展開

| 時配  | 主な学習活動                             | 指導上の留意点 ◆評価   | 資料等   |
|---|------------------------------------|---|---|
| 3   | 1 歩行時や自転車乗車時に、危険な思いをしたことがないかふりかえる。 | ・ 徒歩や自転車でヒヤッとした思いがなかったか、どんなときに危ないと感じたかふりかえさせる。  |   |
| 12  | 2 自転車事故はどのような原因で発生するか予想する。         | ・ 事故類型では出会い頭、道路形状では信号機のない交差点、法令違反では安全不確認での事故が多いことを抑える。  | グラフ<br>・ 自転車事故の事故類型<br>・ 自転車事故発生箇所の道路形状<br>・ 自転車事故の法令違反 |
| 2   | 3 学習課題を知る。                         |   |   |
| どのようにすれば、自転車事故から身を守ることができるのだろう。           |                                    |   |   |
| 20  | 4 自転車の安全な乗り方について知る。                | ・ DVDを視聴させる。<br>・ DVD中の問題から、どんな危険が予測されるか考え、発言させる。<br>・ 「止まる、見る、確かめる」を行うことを徹底させる。<br>・ 危険を予測しながら乗車することの大切さを知らせる。 | DVD 「安全に通学しよう～自分で身を守る、みんなで守る～」<br>交通安全（高学年）             |
| 5   | 5 自分たちの町の道路では、どのような危険があるか考え、発表する。  | ・ 自分たちの学校や家など周りの道路ではどのような場所や状況などが、危険か考えさせる。   |   |
| 3   | 6 まとめ                              | ◆ 自転車の安全な乗り方がわかったか。<br>【知】（挙手）  |   |
| 危険を予測し、「止まる、見る、確かめる」を行いながら、自転車を運転するようになる。 |                                    |   |   |

## 9 資料活用の効果

- ・ DVD中の危険予測問題を考えることで、「止まる、見る、確かめる」を徹底して行うことの大切さを理解することができた。
- ・ DVDと比較することで、自分たちの身の回りの安全についてふりかえり、考えることができた。

## 10 参観者の意見・感想

- ・ 導入場面に用いたDVD内の統計資料は、わかりにくく難しかった。
- ・ 視聴したDVDは、危険を予測するなど場面ごとに効果的にまとめられており、小学生にはわかりやすかった。
- ・ 焦点化された内容だったため、交通安全教室の事前学習として効果的な内容だった。

資料を活用し、安全な登下校・自転車による交通事故防止を考える学習指導案

- 1 対象学年 小学校 第4学年
- 2 教科・領域 特別活動  
【1 学級活動 (2) 日常の生活や学習への適応及び健康安全】  
カ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成
- 3 題材名 自転車と交通安全
- 4 題材の目標
- ・自転車の構造や特性に関心を持ち、正しく扱うための方法や身近に潜む危険についての解決方法を考えようとしている。 【関】
  - ・自転車に関わる交通ルールや事故について、その原因や問題を解決するために自分にできることを考えることができる。 【思】
  - ・自転車を管理するために必要な点検項目を知り、安全のために様々なルールや規則が定められていることを理解している。 【知】
- 5 題材の指導計画

| 時     | 目 標   | 主な学習活動  | 資料・教材  |
|-------|---|---|--|
| 事前の活動 | 自転車の乗り方を振り返り、身の回りにある危険や自己の行動について問題意識を持つことができる。                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車の便利さを確認し、その使用について振り返る。</li> <li>・交通事故が自転車の運転者によって起こる事例を取り上げ、身近な問題であることを話し合う。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞記事</li> <li>・自転車安全利用五則</li> </ul>  |
| 本時の活動 | 自転車を安全に乗るためのルールや自転車を安全に管理するための方法を知り、自分の行動や問題について解決方法を考えることができる。 | <p>「自転車の乗り方やあつかい方について考えよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車に乗る際の規則などのクイズに答え、自転車に対する関心を高める。</li> <li>・自転車が起こす交通事故についての事例を知る。</li> <li>・自転車による交通事故の原因や防止について話し合う。</li> <li>・自分にとって、どんなことに気を配ればよいかについて考え、実践方法や目標を定める。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車事故の原因別調査結果</li> <li>・交通ルールに関するDVD</li> <li>・自転車の点検チェック表</li> <li>・道路標識</li> </ul> |

|       |   |   |   |
|-------|---|---|---|
| 事後の活動 | 自転車の正しい乗り方の基礎を体験することで自転車操作の技能を高め、自己の課題についての現状を振り返ることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>安全指導員を講師として自転車教室を開催し、実践的な技能やルールを体験する。</li> <li>自己の技能について振り返る。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>模擬道路</li> <li>模擬信号機</li> </ul> |
|       |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>安全な自転車の乗り方について、自己の目標が達成できているかを評価させる。</li> </ul>                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート</li> </ul>              |

## 6 本時の目標

- (1) 自転車の整備の仕方や基本的な交通マナーについて、自分の考えを深めようとしている。 【関】
- (2) 自己の行動を振り返り、交通事故を起こさないようにするための解決方法を考えることができる。 【思】

## 7 資料の活用のねらい及び活用方法

本題材では、以下の資料を活用する。

- |                                       |
|---------------------------------------|
| ①小学校向け交通安全教育DVD 自転車基本編（3・4年生向け）（JA共済） |
| ②小学生のための自転車安全教室（日本損害保険協会）             |

①については、自転車事故の具体的な場面と交通事故の危険予測についてアニメーション、自転車点検の仕方などの内容が収録されている。また、進行がキャラクターによって行われており、児童にとって親しみやすい内容である。活動の導入や自己解決への一助となることをねらいとしている。

本活動は、授業参観日に行う予定である。自転車による交通事故を保護者の目線でも考えさせたいというねらいを定めて②の資料を活用した。②の資料には、自転車事故の発生件数や自転車事故の加害者が負担する損害賠償金などの事例が記載されている。授業前に参観保護者へ配布することで、本活動時だけではなく、家庭においても児童の課題解決に寄与することを期待した。

## 8 本時の展開

| 時配 | 主な学習活動   | 指導上の留意点○・評価◆                                    | 資料・教材   |
|----|--|---|---|
| 7  | 1. 自転車○×クイズに答える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>自転車は車のなかまである</li> <li>自転車は道路の右側を走る</li> <li>自転車事故は家の近くで起こりやすい</li> <li>小学生は歩道を自転車で走ってよいなど合計5問</li> </ul> | ○今持っている知識で答えてよいことを告げる。<br>○自転車に対する自己の見識を再確認させる。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>パワーポイント</li> </ul> |
| 2  | 2. 本時のめあてを確認する。<br>自転車の乗り方やあつかい方について考えよう。  |   |   |

|    |   |   |  |
|----|---|---|--|
| 10 | 3. 自転車事故の発生件数や事例を知り、防止するために必要なことを話し合う。<br>・自転車の乗り方を身につける<br>・ルールやマナーを知る<br>・ヘルメットをかぶる<br>など | ○小学生の自転車事故の件数が<br>少くないことに気づかせる。   | ・自転車事故<br>発生件数に<br>ついてのグ<br>ラフ<br>・DVD |
| 15 | 4. 自転車の乗り方や点検の仕方について<br>知る。   | ○自転車を用意し、実際に点検を<br>してみる。  | ・DVD<br>・自転車                           |
| 11 | 5. 自転車による交通事故を防止するために<br>自分がしなくてはいけないことを考え<br>る。  | ○できるだけ具体的な事例を考<br>えられるよう、学区の写真を提<br>示する。<br>◆自転車事故を防ぐための方法<br>や目標を定めることができる。<br>【思・判・実】<br>(ワークシート) | ・ワークシー<br>ト<br>・写真                     |

## 9. 資料活用の効果

今回は、以下の資料を主に活用した。

|                                  |            |
|----------------------------------|------------|
| ①小学校向け交通安全教育DVD 自転車基本編 (3・4年生向け) | (JA共済)     |
| ②小学生のための自転車安全教室                  | (日本損害保険協会) |

①については、児童の課題に沿った内容が盛り込まれていたため、事故の予測や歩道でのマナーについて、児童の共感を生んでいる様子であった。また、自転車の点検について合い言葉が設定されており、その言葉通りに実際の自転車を点検することで、点検項目が整理しやすい資料であった。

DVDがチャプターに分かれており、順序を入れ替えて提示できるという点も、児童の実態や本時の展開によって工夫できるという点で有用であった。

②の資料については、保護者への配付資料として用意したため、効果の具合を確認することはできなかった。しかし、後日保護者の一部に話を聞いたところ、資料を基に自転車事故について会話をしたという家庭も見られた。

### 10 参観者の意見・感想

○自転車は身近な移動手段であるが、最低限のルールやマナーを知ることは、重要な課題であり、それを考えさせることができたことがよかった。

○保護者参観実施日に展開できたことがよかった。ヘルメットの着用などは、保護者の協力なしでは実現できないため。

○細い路地や急な坂道など地域の実態に即した場面をDVDで提示できていれば、より児童の課題解決への手助けになった。

資料を活用し、安全な登下校・自転車による交通事故防止を考える学習指導案

- 1 対象学年 小学校 第4学年
- 2 教科・領域 特別活動（1 学級活動）  
【（2）日常の生活や学習への適応及び健康安全 カ 心身ともに健康で安全な生活態度の育成】
- 3 題材名 交通安全に気をつけよう

4 題材の目標

- (1) DVD資料や掲示物・地域の地図（「Google Map」ストリートビュー機能）をもとに、交通安全に関心を持ち、進んで学習に取り組もうとしたり、日常生活に取り入れようとしていたりしている。 【関】
- (2) DVD資料や掲示物・地域の地図（「Google Map」ストリートビュー機能）をもとに、様々な場面を想定し、自己の課題や事故に遭わないための行動について考えることができる。 【思】
- (3) DVD資料や掲示物・地域の地図（「Google Map」ストリートビュー機能）をもとに、交通事故が起こりやすい状況を知り、交通事故に遭わないための心構えや基本的な交通ルール及び自転車の点検方法などについて理解している。 【知】

5 題材の指導計画（3時間扱い）

| 時         | 目標   | 主な学習活動   | 資料   |
|-----------|--|--|--|
| 1         | DVD資料をもとに、自らの登下校の方法について振り返り、安全な歩き方や登下校の歩行時に気をつけることについて、理解することができる。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・DVD資料を視聴し、安全な歩き方や登下校の歩行時に気をつけることについて知る。</li> <li>・DVD資料を視聴する中で、歩行時の危険を予測したり、危険を回避するための行動について考えたりする。</li> </ul>   | DVD資料<br>ワークシート①<br>「気をつけるポイント」<br>「学習の振り返り」                               |
| 1<br>(本時) | DVD資料をもとに、自転車の安全な乗り方を知り、危険予測や危険回避について考えたり、点検方法を確認したりすることができる。        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・DVD資料を視聴し、自転車の安全や日常生活の中で気をつけることについて知る。</li> <li>・DVD資料を視聴する中で、自転車運転時の危険を予測したり、危険を回避するための行動について考えたりする。</li> <li>・自転車の点検方法を確認する。</li> </ul>                                  | DVD資料<br>ワークシート②<br>「危険予測・危険回避」<br>「点検のポイント」<br>「学習の振り返り」                  |
| 1         | 夏休み中に交通事故に遭わないための行動や気をつけることを確認し、地域の中で特に危険性が高い場所や時間などについて、話し合うことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休み中に、交通事故に遭わないための安全な歩行及び自転車運転について確認する。</li> <li>・地域で交通事故の危険性が高い場所や時間などについて、話し合う。</li> <li>・「Google Map」のストリートビュー機能を使って、地域における危険箇所を確認し、夏休みに、交通事故の遭わないための行動を考える。</li> </ul> | ワークシート③<br>「地域の危険箇所」<br>「学習の振り返り」<br>インターネット<br>「Google Map」<br>ストリートビュー機能 |

6 本時の目標

- (1) DVD資料や掲示物をもとに、交通安全に関心を持ち、進んで学習に取り組もうとしたり、日常生活に取り入れようとしていたりしている。 【関】
- (2) DVD資料や掲示物をもとに、交通事故が起こりやすい状況を知り、交通事故に遭わないための心構えや基本的なルール及び自転車の点検方法などについて理解している。 【知】

7 資料の活用のねらい及び活用方法

- 児童の安全な通学のための教育教材DVD「安全に通学しよう～自分で身を守る,みんなで守る～」(文部科学省)
- 小学生向け交通安全教育DVD 自転車基本編(3・4年生向け) 自転車点検用おさらいシート(JA共済)

文部科学省が作成した『安全に通学しよう』のDVDは、小学生を対象として、全ての学校に配付されているものである。また、どの学年の内容においても、「とまる・みる・たしかめる」というキーワードを中心に構成されている。短く覚えやすい合言葉を用いることで、児童の意識化や行動化につながるものとする。また、1時間目に「歩行時の交通安全」、2時間目に「自転車運転時の交通安全」と同じDVDを活用して学習することで、DVDの流れや合言葉を理解することができるものとする。歩行時の危険だけでなく、自転車運転時の危険についても同様の形で学習を積み重ねることで、児童は危険予測や危険回避の方法について、繰り返し考えることができるものとする。

児童が夏休みに入る直前の時期に集中的に指導をすることで、基本的な交通ルールを理解し、夏休み中の交通安全の意識化を図り、実践力を高めることができるものとする。また、学習したことを地域の現状と照らし合わせながら考えさせることで、児童一人ひとりが、より身近な課題としてとらえ、自分たちが今後の生活の中で気をつけることやできること・やるべきことについて、真剣に話し合い、交通安全に関する意識を高め、実践する力を養うことができるものとする。

自転車の点検方法については、自転車の安全な運転方法とあわせて、交通安全教室で指導したことから、日常点検の方法やポイントを、掲示物で再確認することができるものとする。

## 8 本時の展開

| 時配   | 主な学習活動   | 指導上の留意点 ◆評価   | 資料等                         |
|--|--|---|-----------------------------|
| 5分   | 1. 前時の振り返りをする。<br>・登下校中の安全な歩き方や守るべきルール・気をつけるポイントについて、確認する。   | ・前時の学習を振り返ることができるよう、資料や掲示物を提示する。<br>・合言葉でもある「とまる・みる・たしかめる」の意識化を図る。  | 前時の資料<br>掲示物                |
| 3分   | 2. DVDを視聴する際のポイントを理解する。<br>・歩行中の交通安全との相違点を見つける。<br>・どのような危険が予想されるかを考える。<br>・危険な目に遭わないためにどうすれば良いかを考える。                          | ・DVDを視聴する際のポイントをしっかりとおさえる。  |                             |
| 2分   | 3. 学習課題の確認をする。   | ・本時の学習の流れとポイントを知らせ、本時のめあてを確認させる。  |                             |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">           安全な自転車の乗り方や運転中の危険について確認し、普段の生活にいかせるようにしよう。         </div> |  |   |                             |
| 25分  | 4. DVD資料を視聴する。<br>・歩行時の内容と比較しながら、ポイントや合言葉を確認する。<br>「とまる・みる・たしかめる」<br>・それぞれの場面において、どのような危険が潜んでいるかについて考え、安全な運転に必要な意識や行動について発表する。 | ・DVDの登場人物は、登下校時の設定となっているが、日常の自転車運転時に置き換えて視聴したり、考えたりするよう、確認した上で視聴させる。<br>◆DVD資料をもとに、交通安全に関心をもち、進んで学習に取り組もうとしたり、日常生活に取り入れようとしたか。【関】 (ワークシート・発表)<br>・児童にとって難しい表現について、補足説明を加える。 | DVD資料<br><br>振り返り<br>ワークシート |
| 5分   | 5. 視聴した感想や視聴して学んだことなどを発表する。  | ・資料からわかったこと・気づいたこと及び日常生活にどのようにいかしていくのかを中心に発表させるようにする。   |                             |

|    |   |  |                           |
|----|---|--|---------------------------|
| 5分 | 6. 学習の振り返りとまとめをする。<br>・「とまる・みる・たしかめる」の合言葉を確認する。<br>・プリントに学んだことや今後にかかせることについて書き込む。<br><br>・自転車点検の際の合言葉を確認する。 | ・本時の学習で学んだことや今後の生活にかかせることについてワークシートにまとめさせる。<br>◆DVD資料をもとに、交通事故が起こりやすい状況を知り、交通事故に遭わないための心構えや基本的なルールなどについて理解したか。【知】<br>(ワークシート・観察)<br>・自転車運転前の点検方法について確認をさせる。<br>「ぶ・た・は・しゃ・べる」 | 振り返りワークシート<br><br><br>掲示物 |
|----|---|--|---------------------------|

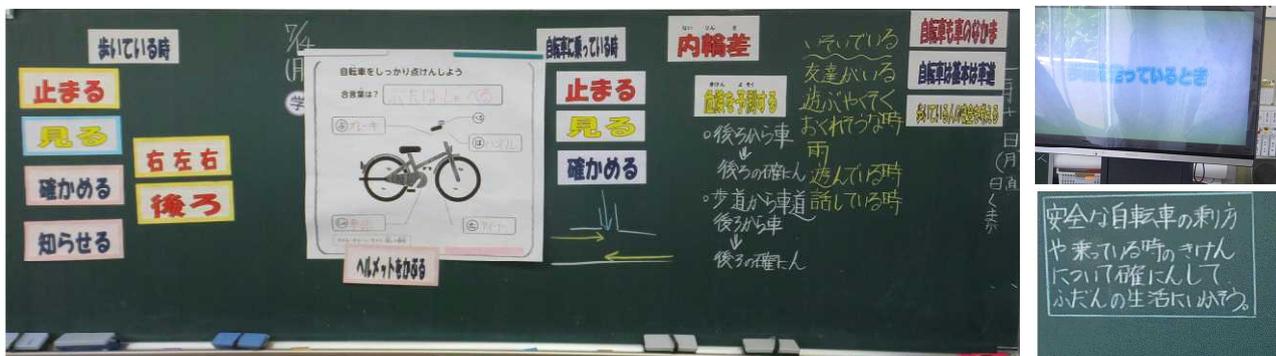
## 9 資料活用の効果

文部科学省から出されているDVDを資料として2時間連続で使用したことで、合言葉となる「とまる・みる・たしかめる」を児童に浸透させることができた。また、一時停止をし、児童に考えさせるプログラムも設定されているので、その都度児童に予想させたり、考えを発表させたりする時間を確保することができた。

DVDによる映像資料を用いたことで、児童は具体的な場面を視覚的にとらえることができた。また、DVD資料自体は、「登下校時の交通安全」というテーマが設定されているが、夏休みに入る直前にDVD資料を使った授業を展開したことで、登下校時の交通安全に対する意識を高めるだけでなく、日常生活や夏休み中の交通安全について考えさせたり、地域における危険箇所や自分たちの行動で交通事故等に繋がる行動を予測したり、それをもとに気をつけるべきことを話し合わせたりすることができた。

DVDに出てくるキーワードや合言葉などを掲示物にして、板書に残したことで、児童はDVD資料の内容やポイントを確認したり、振り返ったりしながら学習に取り組むことができた。また、前時・本時・次時はもちろんのこと、その他の時間に振り返りをする際にも活用することができた。

6月に実施した交通安全教室で、自転車点検時の合言葉を、児童は学習していたので、復習も兼ねて本時の展開の中に、合言葉である「ぶ・た・は・しゃ・べる」を確認する時間を設定したり、掲示物を使用したりしたことで、本時の流れやねらいからはずれてしまうことに繋がった。自転車点検時の合言葉を使用するのであれば、別の時間に行う方が良いと考える。



## 10 参観者の意見・感想

- ・DVD資料を見る視点が明示されたので、児童は前時とつなげて理解することができていた。また、「とまる・みる・たしかめる」が十分理解されていた。DVDを視聴して考えた後、ペアで話し合せてから全体で確認をすると、さらによかったと思う。今回の実践を受けて、定期的な振り返りを行うことで、効果を継続させ、さらに増していくと思う。
- ・中学校で取り扱う資料は、安全五則や加害者となる歩道走行が中心となっていたので、文部科学省から出されているDVDのできのよさに驚いた。中学校でも使える資料も多くあり、参考になった。また、児童の反応や学習に臨む態度もよかったと思う。
- ・前時のDVD資料の内容や指導がよく浸透していて、「とまる・みる・たしかめる」の合言葉が、口をついてすぐ出てくる様子を見て、本学級の児童の交通事故は、この授業で0に近くなったのではないかと思う。
- ・学校教育の中で、安全指導・安全教育を行うことは少ないと思う。また、中学校では、全体指導を行うものの、授業の中で取り扱うことは多くないので、今回の授業を参考にして、実践していきたい。

資料を活用し、安全な登下校・自転車による交通事故防止を考える学習指導案

1 対象学年 小学校第5学年

2 教科・領域 総合的な学習の時間

3 題材名 「〇〇小交通安全DVDを作ろう」

4 題材の目標

- (1) 交通安全に関心をもち、進んでDVDづくりに取り組もうとしている。 【関】
- (2) 自転車運転時の危険を予測したり、危険を回避するための行動を考えたりすることができる。 【思】
- (3) 歩行時や自転車運転時に気をつけることを工夫して発表することができる。 【技】
- (4) 安全に通学するためのルールや、どんな場所で交通事故が起きやすいかを理解している。 【知】

5 題材の指導計画（11時間扱い）

| 時配        | 目 標  | 主 な 学 習 活 動   | 資 料                            |
|-----------|--|---|--------------------------------|
| 1         | 市内の交通事故の発生状況を知り、交通事故を防ぐための方法を考えることができる。              | ○市内の子どもの交通事故発生件数や死傷者数について知り、登下校の方法を振り返る。<br>○交通事故を防ぐための方法を考える。                                | ・市内の交通事故発生状況のグラフ               |
| 1         | 安全な歩き方や登下校時に気をつけることについて考えることができる。                    | ○教材ビデオ「安全に通学しよう」を視聴し、安全な歩き方や登下校時に気をつけることについて知る。<br>○歩行時の危険を予測したり、危険を回避するための行動について考えたりする。      | ・DVD資料<br>・ワークシート              |
| 1         | 自転車の安全な乗り方を知り、危険予測や危険回避について考えることができる。                | ○教材ビデオ「安全に通学しよう」を視聴し、自転車の安全や日常生活の中で気をつけることについて知る。<br>○自転車運転時の危険を予測したり、危険を回避するための行動について考えたりする。 | ・DVD資料<br>・ワークシート              |
| 1<br>(本時) | 自転車事故の加害者にならないためには、どうすればよいかを考えたり、点検方法を確認したりすることができる。 | ○教材ビデオ「安全に通学しよう」を視聴し、自転車事故の加害者にならないためには、どうしたらよいかを考える。<br>○自転車の点検方法を確認する。                      | ・DVD資料<br>・ワークシート<br>・整備された自転車 |
| 1         | DVDで取り上げる場面を決め、グループごとに発表内容を話し合うことができる。               | ○前時までの振り返りを行い、歩行時や自転車運転時のどの場面を取り上げてDVDを作成するか話し合う。<br>○グループごとに発表内容を話し合う。                       | ・DVD資料<br>・ワークシート              |

|        |                                  |   |                   |
|--------|----------------------------------|---|-------------------|
| 1<br>2 | 話し合い結果を基に、交通安全DVDを作成することができる。    | ○グループごとに発表の準備をする。<br>○交通安全DVDの撮影を行う。                                | ・ワークシート           |
| 1      | 撮影したDVDの中間発表会を行い、改善点を話し合うことができる。 | ○撮影したDVDを見て、改善点を話し合う。   | ・自作DVD            |
| 1<br>2 | 中間発表会の意見をもとに、作成したDVDを見直すことができる。  | ○中間発表会の意見をもとに、作成したDVDを見直し改善する。                                      | ・自作DVD            |
| 給食時    |                                  | ○校内放送を利用し、完成したDVDを全校児童に放映する。  | ・自作DVD            |
| 1      | 交通安全DVDづくりをとおして学んだことを発表することができる。 | ○交通安全DVDを作成して学んだことを、グループごとに発表する。<br>○これまでの学習を振り返り、安全に通学することについて考える。 | ・DVD資料<br>・ワークシート |

## 6 本時の目標

- (1) 自転車事故の加害者にならないためには、どうすればよいか進んで考えようとしている。【関】
- (2) 歩行者の安全に気を配った自転車の乗り方を考えることができる。【思】

## 7 資料の活用のねらい及び活用方法

交通安全DVDを作成するにあたり、どのような場所で事故が起こりやすいのか、事故に遭わないためには、どのような心構えをもっておくべきかを理解させる必要がある。そのために、DVD「安全に通学しよう～自分で身を守る、みんなを守る～」(文部科学省)を視聴して、様々な場所で起こる危険を予測したり、危険を回避するための方法を考えたりする学習を積み重ねていきたい。

本時では、自転車事故の加害者にならないようにするためにはどうしたらよいかを考え、歩行者の安全も考えた運転につなげられるようにしたい。また、どの学年においても、「とまる・みる・たしかめる」というキーワードが用いられている。短く覚えやすい合言葉を用いることで、児童の意識化や行動化につながると考える。そして、DVDで学習したことを地域の現状と照らし合わせて考えさせることで、児童一人一人がより身近な課題としてとらえ、交通安全に関する意識を高めたい。

## 8 本時の展開

| 時配   | 主な学習活動   | ○指導上の留意点 ◆評価   | 資料等  |
|--|--|--|------|
| 3分   | 1. 前時の復習をする。<br>・道路の安全な歩き方や歩行時に気をつけるべき点について確認する。 | ○前時の学習で使用した掲示物や資料を提示しながら復習させる。<br>○「とまる・みる・たしかめる」のポイントをおさえる。 | 掲示物  |
| 5分   | 2. 自転車の事故場면을視聴する。                                | ○本時の学習の流れを知らせ、学習のねらいを確認させる。                                  | 映像資料 |
| 2分   | 3. 本時の学習課題を確認する。                                 |  |      |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">           自転車事故を起こさないためには、どうすればよいか考えよう。         </div> |  |  |      |

|     |  |  |                             |
|-----|--|--|-----------------------------|
| 20分 | <p>4. DVDを視聴し、歩行者の安全を考えた自転車の乗り方について考える。</p> <p>T : 次の場面ではどんな危険が起こるでしょうか。</p> <p>C1 : お年寄りにぶつかり、大けがをおわせてしまうかもしれない。</p> <p>C2 : ベビーカーをおしている人をおどろかせてしまうかもしれない。</p> <p>C3 : 自分が転んで、大けがを負うかもしれない。</p> <p>T : 歩行者の安全を考えた自転車の乗り方を考えましょう。</p> <p>C1 : スピードを出しすぎない。</p> <p>C2 : 歩行者から距離をとって走る。</p> <p>C3 : 人が多いところでは、自転車から降りて歩いた方がいい。</p> | <p>○DVDで取り上げられる場面の危険予測や歩行者の安全を考えた自転車の乗り方について、自分の考えをプリントにまとめさせてから、グループで話し合わせる。</p> <p>◆自転車事故の加害者にならないためにはどうすればよいか進んで考えようとしている。【関】(ワークシート・観察)</p> <p>◆歩行者の安全を考えた自転車の乗り方を考えることができる。【思】(観察・ワークシート)</p> | DVD<br>児童用ホワイトボード<br>ワークシート |
| 8分  | <p>5. 自転車の点検方法を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブレーキ ・タイヤ ・反射材</li> <li>・車体 (サドル、ライト、ハンドル)</li> <li>・ベル</li> </ul>  | ○整備された自転車を用いて、点検場所を示しながら、点検方法を確認させる。   | 掲示物<br>整備された自転車             |
| 7分  | <p>6. 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の感想や学んだことを発表する。</li> <li>・「とまる・みる・たしかめる」の合言葉を確認する。</li> </ul>   | ○本時の学習で気づいたことや学んだことを中心に発表させる。  |                             |

## 9 資料活用の効果

自転車事故の加害者にならないために、歩行者の安全も考えた乗り方を児童が具体的に考え、実践につながるようにしたいと考えた。そこで、DVDや映像資料を用いて、自転車事故が起こりそうな場面を視覚的にとらえさせ、どのような事故が起きるか、事故を起こさないためにはどのような乗り方をしなければならないかを考えさせた。その結果、児童が事故場面を視覚的にとらえることができ、問題の把握がしやすくなった。それに伴い、自転車の安全な乗り方について具体案が多数挙げられ、学習にも深まりが見られた。

しかし、映像資料の内容によっては、学習課題と結びつかないために、効果が低いものもあった。課題をしっかりと意識して学習に取り組めるように資料を選択する等、活用について再考していく必要がある。

## 10 参観者の意見・感想

○DVDを用いて具体的場面を取り上げたことで、児童もその場の状況をよくつかんで考えることができていた。

○個人で考える時間を十分に確保してからグループで考えさせると、より意見が深まったと考える。

○自転車点検は、整備が不十分な自転車ではどのような危険が起きるかを考えさせてから始めると、より整備の必要性が伝わったかもしれない。

○安全な通行の仕方や自転車の点検方法を、キーワードを用いて確認していたので、児童は覚えやすいと思った。

# 〇〇小で起こる交通事故を防ぐために

番 氏名 \_\_\_\_\_

学

## 1. 歩行者の安全を考える

①次の場面では、どんな危険なことが起きるでしょうか。予測しましょう！

②事故を起こさないためには、どんな自転車の乗り方をすればよいか考えましょう。(できるだけ多く)

## 2. 自転車の点検

○自転車点検の合言葉は、



… 自転車を少し前に動かしてブレーキをかけ、左右のきき具合を確かめる。



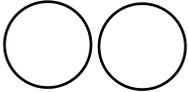
… 空気は入っているか、タイヤに傷<sup>きず</sup>やへりはないか、スポークの抜けなどはないか。



… 反射材の状態を確認する。



… サドルの高さ、チェーン、ライト、ハンドルの状態<sup>じょうたい</sup>を確認する。



… 音はなるか、正しく作動するか確かめる。

## 3. 学習の振り返り

○今日の学習の感想や学んだことを書きましょう。

|  |
|--|
|  |
|  |
|  |
|  |

## 資料を活用し、安全な登下校・自転車による交通事故防止を考える学習指導案

- 1 対象学年 小学校 第6学年
- 2 教科・領域 学級活動【1学級活動 (2) 日常の生活や学習への適応及び健康安全  
力 心身ともに健康で安全な生活態度の形成】
- 3 題材名 その時どうする

### 4 題材の目標

- (1) 安心・安全な生活を送るために、自ら進んで取り組もうとしている。 【関】
- (2) 提示された資料について、危険を予測し、回避方法を考えることができる。  
友だちの意見を参考に、自分の考えをまとめたり、発表したりすることができる。【思】
- (3) 身のまわりにある危険に気づくとともに、危険から身を守るための方法を理解している。 【知】

### 5 資料活用のねらい及び活用方法

従来の安全教育は、教師がきまりやルールを教え、その遵守を求めるなど、教師主導の指導形式が多かった。そこで、起こりそうな危険や事件・事故を児童に予測させ、その回避方法を考えさせる危険予知トレーニング（KYT）を取り入れた学習を教材として取り入れることとした。この学習は、従来の教師主導のものとは異なった参加型学習であり、児童は主体的に取り組み、自ら危険に気づき、考え、安全に行動するために、展開を予測できる力、人の心を理解できる力を身に付けることができるものとなっている。

この危険予知トレーニング学習では、イラストや写真、映像を資料として用い、「こういう場面・状況ではこのように事態は展開する」というイメージを具体的に描くトレーニングを行うことで、児童を自主的・主体的に活動させることができ、自ら危険を予測し、安全に行動する力を育むことができる。

そこで、本教材は身近な場所で起こりうる交通事故の危険を児童に意識させるために、イラストの教材を用いた危険予知トレーニング学習にすることとした。KYTシートの設定場面を危険の予測しやすいものから、予測しにくいものなどさまざまな場面を用いて、児童の危険予測・回避能力を向上させたい。児童が身近に潜む危険に気づき、実生活においてより安全に行動する意識を高めるような展開とする。また、児童が十分に危険予知について考えたり、話し合ったりした後に、アニメーション動画を視聴することにした。動画を見ることにより、危険をより身近に感じ取り、安全に行動する大切さに気付かせたい。

<映像資料について>

本田技研工業株式会社のホームページ「危険予測トレーニング」より  
(<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/kyt/training/>)

6 本時の指導

| 時配                               | 主な学習活動  | 指導上の留意点 ◆評価   | 資料     |
|----------------------------------|---|---|--------|
| 5                                | 1 道路を歩いていたたり、自転車に乗っていたりしたときに「ヒヤリ、ハッと」した体験時を話し合う。  | ○ 児童の体験があまりでないようならば、教師の体験談を話しするようにする。   |        |
| 5                                | 2 本時の学習課題を知る。   |   |        |
| これから起こるかもしれない危険を考え、交通安全について考えよう。 |   |   |        |
| 30                               | 3 危険予知トレーニングをおこなう。<br><br>○ イラストを見て、潜んでいる危険を予測し、回避方法を考える。<br>シーン1 住宅街<br>シーン2 夕暮れ時の市街地<br>シーン3 住宅街の交差点<br>シーン4 市街地の交差点<br><br><b>①状況の把握</b><br>○ 教師の説明を聞き、イラストを見て状況を把握し、立場に立って次の展開を考える。<br><br><b>②危険の予知</b><br>○ はじめは1人で危険予知をして気がついたことをワークシートに書く。<br>○ グループで、話し合いながら、最も危険だと思うことを決める。<br>○ グループで話し合ったことを発表する。 | ○ 本時におこなう学習方法を知らせる。<br><br><b>◆ 安心・安全な生活を送るために、自ら進んで取り組もうとしている。【関】(観察)</b><br><br>○ ワークシートを配り、状況を簡単に説明する。<br><br>○ できるだけ多くの危険を予知するように助言する。<br><br>○ なぜ、最も危険だと思うのか根拠を述べながら、話し合ったり、発表したりさせる。<br><br><b>◆ 提示された資料について、危険を予測し、回避方法を考えることができる。【思】(発言・記録)</b> | ワークシート |

|   |   |  |                                  |
|---|---|--|----------------------------------|
| 5   | <p><b>③回避方法の考察</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 動画を見て、どんな危険が起こったのか知る。</li> <li>○ このような事故に遭わないようにするためにはどのようにしたらよいか考え、ワークシートに書く。</li> <li>○ グループで自分たちの考えたことを話し合う。</li> </ul> <p>4 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ これから道路を歩くときや自転車を乗るときに気をつけようと思うことをまとめる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 動画での事故が正解という訳ではないことを知らせる。</li> <li>○ 自分や他人が陥りやすい考え方を考えさせ、ふさわしい対応を考えさせる。</li> <li>○ 予測しやすい危険は回避しやすく、予測しにくい危険は回避しにくいことを説明する。</li> </ul> <p>◆ 友だちの意見を参考に、自分の考えをまとめたり、発表したりすることができる。【思】(観察)</p> <p>◆ 身のまわりにある危険に気づくとともに、危険から身を守るための方法を理解している。<br/>【知】(記録)</p> | <p>PC<br/>電子黒板</p> <p>ワークシート</p> |
| <p>どんな場面でも、事故は起こりうると考え、どんな危険があるかを考えながら、行動するようにする。</p> |   |  |                                  |

## 7 資料活用の効果

- ワークシートを使った危険予知トレーニングは、児童は主体的に取り組み、交通安全について考える良いきっかけとなった。
- 動画取り入れたことは良かった。自分の予測していたことが、アニメーションで本当に事故等につながった映像を観ることで、児童は、危険を予測することの大切さを感じることができた。

## 8 参観者の意見・感想

- 児童は1つの場面から、たくさんの危険を予測することができた。
- 1時間の展開で、4つのシーンに取り組んだが、内容が多く、1つのシーンにじっくり考える時間がもてなかった。シーンを2つぐらいに絞っても良かった。

資料を活用し、安全な登下校・自転車による交通事故防止を考える学習指導案

- 1 対象学年 小学校 第6学年
- 2 教科・領域 学級活動  
【1 学級活動 (2) 日常の生活や学習への適応及び健康安全  
カ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成】

3 題材名 登下校の安全な歩行

4 題材の目標

- (1) 安全な登下校をするために大切なことを話し合おうとしている。 【関】
- (2) 交通安全の合い言葉を考えることができる。 【思】
- (3) 安全な登下校をするために、危険を予測しながら歩行することが大切であると理解することができる。 【知】

5 題材の指導計画

| 時 | 目 標                    | 主 な 学 習 活 動       | 資 料                                       |
|---|------------------------|-------------------|---|
| 1 | 安全な登下校をするために大切なことを考える。 | 学校の交通安全の合い言葉を考える。 | DVD<br>「安全に通学しよう<br>～自分で身を守る、<br>みんなで守る～」 |

6 本時の目標

- (1) 登下校時の危険について理解を深め、交通安全の合い言葉を考えることができる。 【思】

7 資料の活用のねらい及び活用方法

○登下校に起こり得る危険について紹介し、どのようなことに注意しながら歩行すればよいのかを知る資料として活用する。

【資料・出典】

『安全に通学しよう ～自分で身を守る、みんなで守る～』

トップメニュー→『交通安全』→『中学年』

→『「止まる 見る たしかめる」をわすれたとき』41秒

→『見えない「車のかげ」』1分51秒

→『歩道を歩いているとき』3分04秒

→『ルールを守るのは自分』41秒

8 本時の展開

| 時配                 | 主 な 学 習 活 動   | 指導上の留意点 ◆評価   | 資料等      |
|--------------------|---|---|----------|
| 3分                 | 1 学校の現在の交通安全の合い言葉を確認する。<br>・「とび出しはダメ ルールを守って なかよく帰ろう」   | ○全員で唱え、交通安全の合い言葉の意味について再度理解させる。   | 合い言葉の掲示物 |
| 2分                 | 2 本時のねらいをつかむ。   | ○現在の登下校時の状況に合った合い言葉なのか、ふりかえり、見直しをすべきか考えさせる。   |          |
| 学校の交通安全の合い言葉を考えよう。 |   |   |          |
| 10分                | 3 DVD資料「安全に通学しよう」を観ながら、歩行時の危険について話し合う。<br>・車が突然出てくるかもしれない。<br>・人が飛び出してくるかもしれない。<br>・車と車の間に人がいるかもしれない。<br>・様子を見るために一旦止まる。    | ○DVDを視聴し、歩行時に潜む危険について考えさせる。<br>○映像を一時停止させ、どのような危険があるのか、どのように行動すれば事故を防ぐことができるのかを発表させる。<br>○児童が実際に遭遇した危険な場面があれば紹介する。                | DVD      |
| 5分                 | 4 安全な登下校をするために大切なキーワードを発表する。<br>・前後、左右の確認 ・止まる<br>・確かめる ・よく見る   | ○キーワード形式で簡潔に発表させる。<br>○歩行時の危険を避けるための有効な合い言葉を作ることにつなげていく。  | ワークシート   |
| 20分                | 5 交通安全の合い言葉を考える。<br>「いいんだよ 何回しても<br>かくにんは」<br>「気をつけて あおになっても<br>右左」<br>「いそぐほど きけんは近くに<br>やってくる」<br>全日本交通安全協会<br>交通安全スローガンより | ○全日本交通安全協会の過去の作品を紹介し、考えの一助とする。<br>○考えが浮かばない児童には、安全な登下校をするための行動を言葉にして、合い言葉を作るように考えさせる。<br>◆交通安全の合い言葉を考えることができたか。【思】<br>(ワークシート・観察) | ワークシート   |
| 5分                 | 6 交通安全の合い言葉を発表し、まとめをする。   | ○発表を通し、交通安全の意識を高めさせる。   |          |

## 9 資料活用の効果

活用の効果は以下の点であった。

- 危険を予測させる場面を活用したことで、意欲的に学習に取り組むことができた。
- チャプターが短時間に編集されていたので、飽きずに見ることができた。
- 活用したチャプターは「歩行」の交通安全で中学年向けだったが、高学年でも十分活用できる内容だった。高学年向けには「自転車」の交通安全になっており、自転車の乗り方や注意点についても分かりやすくまとめられていた。

## 10 参観者の意見・感想

参観者からは、以下のような意見・感想があった。

- 「とび出しはダメ」「ルールを守って」「なかよく帰ろう」の部分に分けて現状を話し合えば、見直しにつながったと考える。また、他学年の様子や他の先生方の意見も事前に集めておくことも有効である。
- 児童の学習意欲の向上や物事を考える意味について深めるために、児童の作った合い言葉が学校の合い言葉につながっていくよう指導してほしい。
- DVDの中の「止まる」「見る」「たしかめる」を生かしたい。
- DVDでの危険の予測とそれに対するポイントの「左右確認」「止まる」「危険を予測する」などのキーワードを書かせたり、発表させたりしておけば、安全な登下校をするために大切なことを発表する際に活用するなど充実したのではないかと考える。

資料を活用し、安全な登下校・自転車による交通事故防止を考える学習指導案

1 対象学年 小学校 第6学年

2 教科・領域 特別活動

3 題材名 自転車事故の原因と対策、その後 ～加害者と被害者～

4 題材の目標

- ・交通安全に関わる問題に関心を持ち、自主的にその問題解決について考えたり、取り組んだりしようとしている。 **【関】**
- ・日常的に見られる交通安全の工夫について話し合い、どのような場面でそれが活かされているか考え、実践することができる。 **【思】**
- ・交通ルールについての知識を広め、それを守ることで保たれる安全の大切さについて理解している。 **【知】**

5 題材の指導計画

| 時            | 目標                                 | 主な学習活動  | 資料  |
|--------------|------------------------------------|---|---|
| 事前活動         | 日頃の交通安全を振り返り、意欲的にアンケートに答える。        | ・自転車の利便性を振り返り、歩道や車道で経験した危険について歩行者と自転車の立場から振り返る。   | アンケート用紙   |
| 学習活動1次       | 自転車に安全に乗るためのルールを考えよう               | 「自転車のルールを知ろう<br>～自転車安全利用五則～」<br>・車を運転する立場から見た自転車の危険についての講話を聴き、自転車に必要なルールを考え、車の法律と同じような“自転車安全利用五則”があることを知る。<br>・自転車安全利用5則以外の自転車のルールについて知る。 | ワークシート<br><br>警備員、路上指導員、PTAの安全に関わる役員などに講話を依頼する。 |
| 学習活動2次       | 事故や危険を避ける方法を考えよう。                  | 「自転車のルールを知ろう ～危険予測～」<br>・自転車が停車中の車を追い越そうとしている画像から、危険を予測し対策を考える。   | ワークシート  |
| 学習活動3次<br>本時 | 「 <sup>だれ</sup> 〇〇のため」の安全ルールか考えよう。 | 「自転車事故の原因とその後～加害者と被害者～」<br>・ルールを守らなかった場合の責任の重さについて知る。<br>・安全な自転車の乗り方についてこれまでの学習をまとめる。   | ワークシート<br>DVD                                   |
| 事後活動         | 帰りの会                               | 前時までの学習を想起しながら、一週間の交通ルールについて振り返る。   |   |

## 6 本時の目標

○「被害者になった時の痛み」と「加害者としての責任」について考えようとする。

【集団行動や生活への関心・意欲・態度】

○自転車事故の原因を考え、危険性やルールから適切な行動を選ぶことができる。

【集団の一員としての思考・判断・実践】

## 7 資料の活用のねらいおよび活用方法

本時では、J A 共済「自転車交通安全教育DVD」を活用して展開していく。

事故の経験のない児童らに、視覚に訴える具体的なイメージとして事故の恐ろしさを伝えることは有効であると考え、本資料を活用する。活用にあたっては、本時の内容に関わる「事故はなぜ起こったか」「事故に伴う加害者の責任・被害者のその後」のチャプターを見せ、事故の原因と対策、自分が加害者になったときの責任の重さを考えさせる。

## 8 本時の展開

| 時配 | 主な学習活動  | 指導の留意点 (○) と評価 (◆)   | 資料     |
|----|---|--|--------|
| 10 | <p>1 自転車にまつわるいろいろな事故について聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生の事故の事例<br/>お年寄りとぶつかって死亡させた。加害者側が賠償金3120万円の支払いをした。</li> </ul> <p>2 本時のめあてを確認する。</p>                               | <p>○被害事故だけではなく、加害事故についても紹介する。</p> <p>○自転車安全利用5則を想起させる。</p> <p>○事例とともに事故に伴う責任の内容を正確に知らせる。</p>                                 |        |
|    | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>「<sup>だ</sup>れ<sup>れ</sup>のため」の安全ルールか考えよう。</p> </div>   |  |        |
| 10 | <p>3 「J A 共済 自転車交通安全教育DVD」を視聴し、事故の原因を考える。</p>   | <p>◆自転車事故の原因を考え、適切な行動を選ぶことができる。</p> <p>(思考・判断・実践) &lt;発表&gt;</p>   | DVD    |
| 15 | <p>4 事故が及ぼす影響について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故に伴う被害者と加害者双方の立場について話し合い、発表する。</li> </ul>  | <p>◆二つの立場それぞれの責任について話し合いを通して考えを深めることができる。</p> <p>(関心・意欲・態度) &lt;観察&gt;</p> <p>(思考・判断) &lt;ワークシート&gt;</p>                     | ワークシート |
| 10 | <p>5 自転車の安全な乗り用についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「〇〇のために」にあてはまる言葉を考える。</li> <li>・これからどのようなことに気を付けて自転車に乗るかを考え、発表する。</li> <li>・1週間後に交通ルールについてのアンケートを実施することを聞く。</li> </ul> | <p>○自転車の日常的な点検(ブレーキの効き具合、ライトの点灯など)にも触れる。</p> <p>○アンケートの結果で「怖い思いをしたことがない」と回答した児童に、学習後の感想を意図的に聞き、自転車事故のその後と安全な乗り方への関心を高める。</p> | ワークシート |

## 9 資料活用の効果

賠償や民事的責任などの法的な問題は小学生には難しく、時期尚早に見えるが、DVDを使って映像としてのイメージが出来ていたのも、身近な問題としてとらえられていたようだ。

## 10 参観者の意見・感想

- ・具体的な賠償額を導入で提示することで、課題への関心を高めることが出来ていた。
- ・授業のウエイトを前半の事故の原因に置かず、後半の「事故のその後」「誰のためのルールか」に十分に時間を取るように展開すると、さらに内容の理解が深まってよい。
- ・最後の「怖い思いをしたことがない」児童への発問で、学習の定着度を確認することが出来た。

## 特別活動 自転車の安全な乗り方をもっと考えよう

名前 \_\_\_\_\_

★事故を受けた側と与えた側のその後を考えてみよう。

| 受けた側（被害者） | 与えた側（加害者） |
|-----------|-----------|
|           |           |

☆「〇〇のために」安全ルールを守ろう！ 〇〇にあてはまるのは誰でしょう。

| 誰のため？                      | 理由 |
|----------------------------|----|
| 「                    」のために |    |
| 「                    」のために |    |
| 「                    」のために |    |

☆これまでの自転車の安全についての学習を通して、  
これからどのようなことに気を付けて自転車に乗るかを考えよう。

|  |
|--|
|  |
|--|